



ほっかい

水とふれあい通信

◇発行 者／岩見沢市6条西7丁目 北 海 土 地 改 良 区

TEL (0126) 22-2400 FAX (0126) 22-8012

URLアドレス <http://www.midorinet-hokkai.jp>

◇印 刷／弘文社印刷株式会社 岩見沢市5条東11丁目



『幌向ダムを望む』

～ 無人航空機(ドローン)により空撮 H29.9.8 撮影 ～

主 な 内 容

平成30年通常総代会開催	2
平成30年度事業計画	3
平成30年度予算等の概要	4～7
各種表彰・人事通信ほか	8～13
用水路転落事故防止について	14

改良区の現況
地区面積 33,227ha
組合員数 2,061人
平成29年4月対比 △71人
平成30年4月1日現在

第96号

平成30年 通常総代会開催

平成30年通常総代会が、3月19日岩見沢平安閣において総代93名（定数100名の出席を得て開催され、議長に林博美氏、奈井江町・第1区、議事録記名人に澁谷豊氏、岩見沢市・第3区、堀田一洋氏、岩見沢市・第4区）を各々選出し、報告3件、議案39件について慎重審議の結果、原案通り承認決定されました。



開会の挨拶

北海道改良区

理事長

尾田 則幸

通常総代会にあたりまして一言、ご挨拶を申し上げさせていただきます。総代の皆様方につきましては年度末を迎えてそれぞれ公務多忙の中、そして、「ご予定のある中出席を頂戴しました。また、もうすでに農作業等をはじめられている総代さんも多くおられるかと思いますが、そういった中本日の通常総代会に出席を頂戴しまして誠にありがとうございます。また、日頃より総代の皆様方には土地改良区事業運営に對し、ましては特段のご支援、ご協力を賜っております事を衷心より改めて感謝とお礼を申し上げます。

また、本日は来賓と致しまして札幌開発建設部岩見沢農業事務所、の菊地所長さんの出席も頂いております。年度末を迎え、大変公務が多忙の中本通常総代会に出席を頂いて華を添えて頂きました事を改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、やはり、日本全国各地で大きな災害が多い年だったと思っております。特に昨年の夏に九州北部地方でとんでもない大変な集中豪雨で大きな被害を出したというところがあります。また、年が明けてから北陸あるいは東北地方に大変な豪雪という事で交通の麻痺、あるいは生活に支障をきたしたところがあります。最近では特に日本全国各地で火山の活動が非常に活発化しているところだと思っております。つい最近も新燃岳で大きな噴火をしているところであり、こういった大きな災害がまた今年も無ければいいなというふうに思っているところでございます。

さて、本土を見ますと昨年は非常に雪も少なく、雪解けも早く、農作業等は非常に順調に春耕期を終わらすことができたわけであります。ただ、6月以降非常に天候が不順な状況になってきて作物等に大きな支障があるのでないかと非常に心配をしたところでもあります。ただ、昨年の夏は全体を通すと、やはり気候的には非常に気温も低く、雨も多くて天候不順だったと思いますが、一時7月、8月と天候

が良い時期もあったおかげで農作物全体としては満足のできる出来秋になったのだと思っております。これも組合員の皆様方の営農努力というのはもちろんの事ですが、品種改良も大きな影響を与えたと思っております。先人が戦後に本当に色々な厳しい状況の中で土地改良をしつかりやってきましたという効果がここにきてじつくりと効果が出てきたのではないかと思っています。そういった意味で7年連続の豊作という事であります。今年は戌年という事であります。戦後から今年が7回目の戌年という事であります。過去6回の戌年は全て豊作という事でありまして、今年は8年連続の大きな豊作が期待できる年なのではないかと思っております。そういった状況になることを今から期待しているところであります。

さて、農業農村整備事業費の状況の話であります。一昨年より全土連の二階俊博会長を先頭に闘う土地改良区という事な事で平成22年度予算が大幅な削減をされて農業農村整備事業は非常に停滞したという事で、皆様方もご存じの通りであります。その後要請活動を懸命に行っていました。中々復活しなかったわけですが、おとし、二階会長のもとで闘う土地改良区という事な事で我々の代表も国会に送りながら予算復活に向けて要請活動をしつかりやってきました。もう新聞、テレビ等でご存じかと思いますが、全国予算として総額予算は五八〇〇億円ということで平成21年度並みの予算を復活したという事であります。これは昨年29年度に続いて2年連続という事な事であります。中身については昨年同様ですが、30年度の予算についても特別満足いくという状況ではありません。やはり、補正が25%近い部分を占めているという事な事であります。やはり、これをしつかりと当初予算に向けていく事が重要だと思っております。こういった意味では31年度に向けても引き続き4月以降からしつかりと要請活動をしていかなければならないと感じているところであります。また、北海道の予算状況については四二三億円の農業農村整備事業費が補正で付いているわけでありまして、また、当初予算でも七六六億円は当初予算で措置をされているという事な事であります。30年度はしつかり農業農村整備事業として使って頂けるといふ事な事であります。昨年29年度については28年度の台風の影響もあって特に道営事業がかなり削減をされた事業をせざるを得なかったという部分で大変皆さん方に「ご不自由、ご不便をかけた」という事でありまして、今年度の状況を聞きますと、これについては28年並みの事業をやって頂けるといふ事な事であります。ただ、しつかりと事業を進めて頂ければと思っております。ただ、前段申し上げた通り、近年は非常に夏の天候が不順という事な事で夏期施工を入れても昨年は非常に苦勞されたという事な事であります。今年度も事業費が付いたわけでありまして、やはり、天候に恵まれて事業が上手くしつかり施工される事を期待したいと思っております。

さて、昨年の通常総代会のお話でも少し触れたかと思いますが、平成28年の11月に農業競争力強化プログラムにおいて土地改良制度の見直しという事な事もされてきているところであります。昨年の

5月に土地改良制度の一部改正があったわけでありまして、特に私共にとつて大きな影響が見込まれるという事ではあります。ただ、二点程非常にこれからの良い方向になるのではないかと思っています。それについては、土地改良事業に関する申請人数の廃止という事でありまして、こういった部分についてはこれから事業を推進していく場合には非常に効果が大きいのではないかと思っています。灌漑排水事業の突発的な事故に迅速に対応して頂けるといふ法律改正がされました。これらについては非常に効果が出てくるのではないかと期待をしております。また、本年の国会の審議に入るわけでありまして、今年度も大きく言えば土地改良区の組合員資格に関する制度の見直しという事な事であります。これについては今までと大きく変わるという事な事はないう事と感じているところであります。土地改良区体制の改善に関する措置という事な事であります。これについては総代会制度の見直しという事が大きな議題になるわけでありまして、これについては今現在、総代会のいわゆる設置要件で組合員が二百人超でなければ総代会ができないという事でありまして、これを百人超に改訂をしていくという事な事であります。総代選挙の選挙管理委員会による管理の廃止については、現在まで選挙管理委員会に色々な手続きをしながら総代さんの選挙をさせて頂いているわけでありまして、これがいわゆる土地改良区の役員選任事項に則つた中で総代さんを選任しても良いという事な方向での改正がなされるのではないかと聞いております。その他、総代の書面代理人の議決権の行使とか、特に私共の土地改良区も30年度から複式簿記を準備として始めて頂いて、31年度から本格的な導入を検討しているわけでありまして、いわゆる監事のうち一人以上原則として員外監事を設けなければならぬといった部分もあるわけでありまして、これからこういった法改正がなされるかという事は今の国会審議の中を見なければ分かりませんが、こういった事が今国会で審議をされて通れば31年4月1日からという予定になっているのであります。しつかりと国会で審議をして頂ければと思っております。

さて、農業情勢、非常に厳しい情勢であることには変わりないわけでありまして、特にTPPはアメリカが抜けても日本が主体的になつてTPPの11で批准をするという事な事であります。また日本欧州EPAもあるわけでありまして、こういった貿易交渉も大変大きな問題だと思っております。その他色々農業情勢改革されたものが30年度からそういった部分に対応もしていかなければならないという状況にあるわけでありまして、私共もしつかりと皆さん方のご支援、ご協力を得ながら30年度は第5期中期計画の3年目という事でありまして、これらを踏まえながらしつかりと事業運営を行ってまいりたいと思っております。また、ご協力、ご支援を頂きたいと思っております。お願い申し上げます。さて、本総会の提出案件であります。報告事項3件、議案事項39件を提案させて頂くわけでありまして、総代の皆様方に慎重審議を頂きます事をよろしく申し上げて総代会にあつての挨拶に代えてさせていただきます。ご審議の程よろしくお願い致します。

平成30年度事業計画の概要

本年度、事業計画の柱として次の3項目を重点事項と位置付け、精力的に推進して参ります。

第1. 農業農村整備事業の計画的推進

(一) 国営かんがい排水事業

本年度、かんがい排水事業継続の北海地区、道央用水三期地区と併せ、新規着工となる幌向川二期地区かんがい排水事業の推進に万全を期して参ります。

また、農地再編整備事業においては、美唄茶志内地区及び、美唄地区の事業推進に努めます。

(二) 道営事業

本年度、「農業競争力基盤強化特別対策事業」(第5次パワーアップ事業、平成28年から32年までの5年間実施)の下、最大限の負担軽減を図り、新規(調査5地区・着工7地区)を含め、49地区を実施します。

第2. 域資源の適正な保全管理

(一) 地域との連携強化

水と土を守り育ててきたこれまでの役割に加え、ふるさとの歴史や文化の継承、環

境・景観の形成など多面的な機能を果たしている豊かな農村環境と貴重な資源を、次の世代に引き継いでいくためにも、その有効活用と適切な保全管理に、更なる地域との連携と協力をいただき進めて参ります。

また、厳しい予算の中に於いて、国営造成施設管理体制整備促進事業の拡充・継続が認められた事は、更なる地域連携強化に資するものと大いに期待するところであります。

- ・ 国営造成施設管理体制整備促進事業(平成30年から平成34年の5ヵ年)
- ・ 多面的機能支払制度(農地・水保全管理支払交付金)の活用
- ・ 21世紀土地改良区創造運動

第3. 第5次中期計画の推進

第5次中期計画(平成28年から平成32年の5ヵ年計画)の着実かつ円滑な推進により、組織体制の強化と早期効果発現に努めます。

(一) 水土里情報システム

(農用地・施設・水利情報等)の推進

(二) 複式簿記会計へ移行推進

土地改良事業償還金について

土地改良事業償還金について確認したい方は下記担当部署に連絡下さい。

※事業継続地区は、最寄りの各土地改良センター担当者に問合せ下さい。

◎連絡先 北海土地改良区

○賦課調整課

岩見沢市6条西7丁目1番地

☎ 0126-22-2400

○美唄事業所

美唄市東5条南7丁目

☎ 0126-62-2177

○砂川事業所

砂川市三砂町12番地

☎ 0125-52-2006

○南幌事業所

空知郡南幌町北町2丁目2番14号

☎ 011-378-2540

平成 30 年度予算の概要

総 額 4,944,500千円とする！

平成 30 年度 一般会計予算書

収 入 (単位：千円)			支 出 (単位：千円)		
款	予 算 額	説 明	款	予 算 額	説 明
賦 課 金	2,064,242	経 常 賦 課 金 1,393,508 特 別 賦 課 金 656,787 事 業 賦 課 金 13,947	一 般 費	627,190	役 職 員 人 件 費 497,911 交 際 費 1,600 需 用 費 52,229 使 用 料 手 数 料 15,624 備 品 費 45,755 営 繕 費 10,584 会 議 費 3,486 選 挙 費 1
使 用 料	10,893	契 約 使 用 料 3,335 許 可 使 用 料 7,558	営 造 物 管 理 費	1,012,893	頭 首 工 管 理 費 17,235 貯 水 池 管 理 費 16,901 溝 路 管 理 費 107,173 揚 水 機 管 理 費 498,985 交 付 金 ・ 助 成 金 53,550 適 正 化 事 業 費 165,000 非 補 助 事 業 費 1 抛 出 金 57,899 管 理 諸 費 96,149
補 助 金 及 び 助 成 金	972,458	補 助 金 187,665 助 成 金 641,495 交 付 金 143,298	土 地 改 良 事 業 費	385,953	団 体 営 事 業 費 327,302 補 償 工 事 費 1 受 託 事 業 費 58,650
財 産 収 入	7,524	財 産 運 用 収 入 (預金利子、配当金、財産貸付等)	諸 税 及 び 負 担 金	1,505,989	諸 税 6,390 道 営 分 担 金 1,490,544 そ の 他 事 業 負 担 金 9,055
受 託 及 び 補 償 金	58,651	受 託 金 58,650 補 償 金 1	繰 出 金	254,999	財 産 繰 出 金 2,379 積 立 金 繰 出 金 43,270 特 定 積 立 繰 出 金 209,350
繰 入 金	305,704	基 本 財 産 繰 入 金 100 積 立 金 繰 入 金 305,604	償 還 金	1,069,022	農 林 漁 業 資 金 償 還 金 313,733 長 期 借 入 金 償 還 金 407,699 繰 上 償 還 金 347,590
借 入 金	1,107,105	農 林 漁 業 資 金 借 入 金 1,027,726 長 期 借 入 金 79,379	諸 支 出 金	34,454	財 産 取 得 費 102 厚 生 管 理 費 2,070 一 時 借 入 金 利 子 2,000 事 業 推 進 費 1,800 団 体 負 担 金 4,852 諸 費 23,630
諸 収 入	291,923	諸 収 入	換 地 費	46,000	道 営 換 地 処 分 納 入 金 23,000 道 営 換 地 清 算 金 23,000
換 地 費	46,000	道 営 換 地 清 算 金 収 入 23,000 道 営 換 地 徴 収 金 23,000	予 備 費	8,000	
繰 越 金	80,000	前 年 度 繰 越 金	支 出 合 計	4,944,500	
収 入 合 計	4,944,500				

平成29 年度 第 2 回 補正予算可決

一般会計 3,500 千円増額！

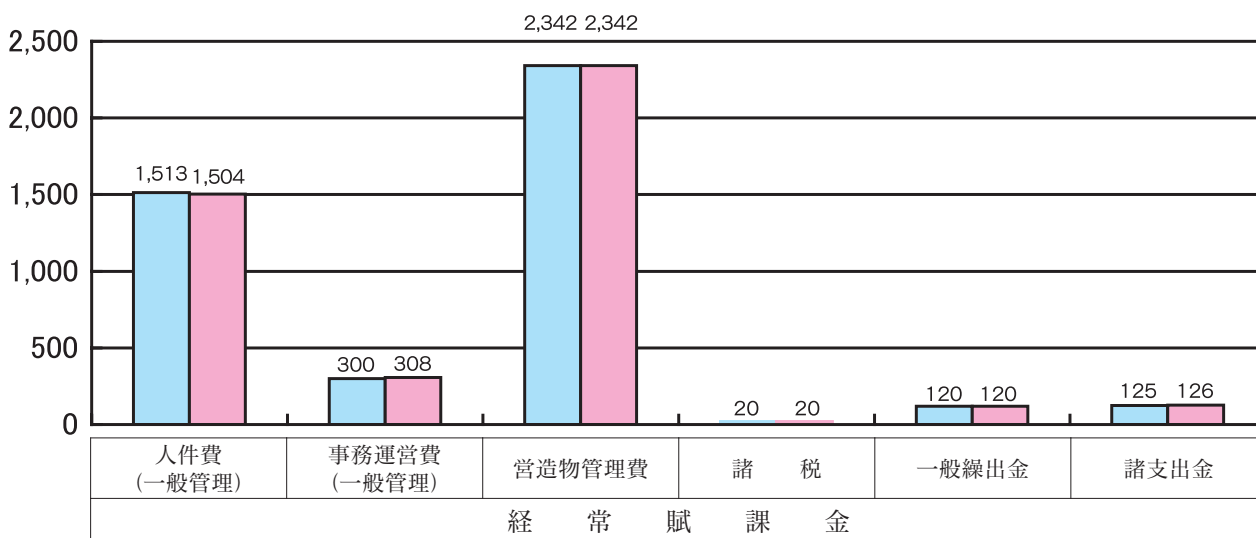
平成 30 年通常総代会において、各種事業の変更等を主たる要因として 3,500 千円 増額し総額 4,681,000 千円とする第 2 回補正予算を可決した。

平成30年度の賦課金について

経常賦課金(地積割) 4,420円で決定！

①平成 29・30 年度 10a 当たり経常賦課金内訳 (単位：円)

1,513	300	2,342	265	4,420	平成29年度
人件費	事務運営費	営造物管理費	その他		
1,504	308	2,342	266	4,420	平成30年度



②特別賦課金

区 分	償 還 賦 課 金 (地積割分)	徴収区分及び納期
一般地区 (A)	10a 当り 1,500 円 北海地区・中村地区	第 2 期 100% (11/15)
一般地区 (B)	10a 当り 2,000 円 三笠地区 (前田・小野・鈴木の沢区域)・栗沢地区	
一般地区 (C)	10a 当り 3,000 円 岩見沢地区	
共 通 地 区	10a 当り 600 円 奈井江地区・三笠地区 (ヌツパ・仙太郎区域)・南岩見沢地区・東栗沢地区	

※国営造成施設管理体制支援事業の支援額の一部を経常賦課金に充当する事とし 10 アール当たり **400 円を減額**して徴収するものとします。

※北海地区については、積立金対応により **300 円減額**(平成 23 年度以降の加入・地区編入を除く)。

※三笠地区・南岩見沢地区については、一部積立金にて対応。

賦課金の納期納入にご協力を！

平成 30 年度賦課金の徴収期日は、下記の通りとなります。納期までに納入して下さい。

◎第 1 期 **6 月 15 日～ 7 月 15 日** (経常賦課金の 70%)

◎第 2 期 **10 月 15 日～ 11 月 15 日** (経常賦課金の 30%及び特別賦課金)

賦課金納入等についての問い合わせは、**賦課調整課・各事業所**をお願いします。

平成30年度の農地転用決済金

決済金は土地改良区に賦課金を納めている土地を水田以外の目的に使用する場合は地区除外の申請をする事になっております。その時に納めていただく事となる金額です。

決済金とは

- ① 土地改良事業により、土地改良区が負担する事になっている負担金
- ② 事業負担金の内、借入れをしている分の償還金
- ③ 土地改良施設の維持管理費の面積減少分（基準維持管理費の20年分）を合計したものです。

但し、条件により下記減免措置が適用されます。詳細内容についてはお問い合わせ願います。

決済金に係る地区別一覧表

(円/10a)

地区名	区 域	決 済 金	減 免 措 置			
			土 地 改 良 施 設 敷 地	組 合 員 の 営 農 に 要 す る 敷 地	一 般 畑 に 用 途 変 更 す る 場 合	農 業 団 体 が 必 要 と す る 敷 地
			農 業 用 用 排 水 路・揚 水 機 場・ 農 道	自 己 の 宅 地・倉 庫・堆 肥 場・農 道・用 排 水 路・防 風 林・水 稲 苗 畑	農 振 内 一 般 畑	事 務 所・倉 庫・ 水 稲 育 苗 施 設・ 資 材 置 場・ライ ス セ ン ター
北 海	全 地 区	127,450	0	26,900	62,090	77,170
中 村	全 地 区	128,910	0	28,360	63,550	78,630
三 笠	前 田、小 野、 鈴 木 の 沢	142,230	0	41,680	76,870	91,950
	ヌ ヅ パ の 沢、 仙 太 郎 の 沢	121,940	0	21,390	56,580	71,660
	岡 本 の 沢、 吉 備 用 水、青 山	100,550	0	0	35,190	50,270
岩 見 沢	全 地 区	133,630	0	33,080	68,270	83,350
南 岩 見 沢	全 地 区	121,940	0	21,390	56,580	71,660
栗 沢	全 地 区	132,510	0	31,960	67,150	82,230
東 栗 沢	全 地 区	121,940	0	21,390	56,580	71,660
奈 井 江	全 地 区	121,940	0	21,390	56,580	71,660

尚、次の事項に該当する場合は、上記決済金とは別に精算をすることになります。

1. 当該年度賦課金（1期・2期）
2. 過年度賦課金の未納額
3. 国営事業負担残元金（事業完了地区分）
4. 償還残元金（個人別負担分）
5. 農地転用特別決済金（補助金返還）
6. その他協議により負担をする事となった場合の金額

《地区除外決済金の取扱いについて》

- ◎地区除外により畦畔等の移動があり田区の面積が減になった場合は、田区の減になった面積に単価を乗じて決済金を算出します。
- ◎地区除外により畦畔等の移動がなく、田区の面積に変更がなかった場合は、決済金は納めないで地区除外とし賦課面積の変更もないものとします。
- ◎田面積の変更等については、地区除外申請時に聴き取りをします。

（変更の手続きは、**賦課調整課、各事業所**にてお願いします。）

※年度内（3月末）までに手続きをしないと、翌年の賦課金がかかってしまいますので、必ず手続きするようお願い致します。

平成30年度の主な事業

1. 国営土地改良事業

事業名	地区名	事業費(千円)	主たる事業量(当区関連)
かんがい排水事業(一搬・基幹)	道央用水(三期)	840,000	道央注水工～1式、頭首工～3ヶ所、揚水機場～3ヶ所、測量調査設計等～1式、用地費及び補償費等～1式
かんがい排水事業(一搬・基幹)	北海	6,010,000	北海幹線用水路L=5,020m、測量調査設計等～1式
農用地再編整備事業	美唄茶志内	3,546,000	区画整理A=145ha、支線用水路L=1,540m、測量調査設計等～1式
農用地再編整備事業	美唄	4,038,000	区画整理A=132ha、揚水機場～1ヶ所、測量調査設計等～1式
かんがい排水事業(一搬)	幌向川二期	50,000	測量調査設計等～1式
計	5	14,484,000	

2. 道営土地改良事業

事業名	地区数	事業費(千円)	地区名
水利施設整備事業	9	479,705	大沼、中村南、大富、親和、中美、小西、二幹川第2(調査計画～沼乙)、(保全計画～中美第1)
農村地域防災減災事業	2	4,400	(調査計画～峰延、三笠)
経営体育成基盤整備事業	38	10,379,380	厳島、厳島南、京極南、茶志内東1、大富第1、大富第2、大富第3、大富第4、北美唄、進徳一心第1一期、進徳一心第1二期、進徳一心第2一期、進徳一心第2二期、峰延第1一期、峰延第1二期、峰延第2一期、峰延第2二期、金子、新赤川北、新赤川西、砂浜西、西川西、西川南、越前西、越前東、赤川、中幌向一期、中幌向二期、上幌向第2、清幌、鶴沼、西幌、三重、鶴城一期、鶴城二期 (調査計画～茶志内東第2、二号ため池、砂浜東第1)
計	49	10,863,485	

3. 団体営土地改良事業等

事業名	地区数	事業費(千円)	地区名
国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)	1	159,994	北海
農業水利施設保全合理化事業(機能保全計画策定事業)	1	17,000	二幹川第3
計	2	176,994	

4. 営造物管理費

区分	金額(千円)	内 訳 (千円)
頭首工管理費	17,235	補修・保守費 7,880、賃金等 5,120、電気料 3,510、その他 725
貯水池管理費	16,901	補修・保守費 11,260、賃金等 2,510、電気料 985、その他 2,146
溝路管理費	107,173	補修・保守費 100,950、賃金等 1,645、電気料 1,600、その他 2,978
揚水機管理費	498,985	機電・機場・導水費 60,920、賃金等 53,623、電気料 360,900、その他 23,542
下部交付金・助成金	53,550	分水区運営・支線組合交付金 23,960、支線組合工事助成費 23,590、電気料助成費 6,000
適正化事業費	165,000	適正化事業費 102,300、施設改善対策事業費 62,700
非補助維持管理事業費	1	溝路対象事業費 1
拠出金	57,899	適正化事業 41,068、施設改善対策事業 16,831
管理諸費等	96,149	管理諸費 16,426、水土里推進費 4,200、共同管理負担金 75,522、用地確定費 1
計	1,012,893	

人事通信

《おめでとうございます》

北海道土地連合会に

当区、尾田理事長が就任！

このたび、平成30年5月17日開催の北海道土地連立選会において、北海道土地改良事業団体連合会の会長理事に当区尾田理事長が選任され、5月17日より就任致しました。

当区といたしましても、大変名誉な事であり心よりお慶び申し上げますと共に、地域はもとより、全国、北海道農業農村整備事業の推進と農家負担軽減対策に、より一層ご尽力賜ります様ご期待を申し上げます。

総代の動向

▼第17期総代において、左記の方が退任されました。永年地域農業並びに当区業務運営にご尽力賜り厚くお礼申し上げます。

選挙区	退任者	在任期間
第1区	稲垣直樹	平成30年6月5日

この退任に伴い、定数106名に対し、現員98名（欠員8名）であります。

分水区長・支線組合長の動向

▼分水区長の異動がありましたのでお知らせ致します。今般退任されました分水区長には、これまで改良区にお寄せいただきました数々のご厚情に対し深甚なる感謝を申し上げます。今回新たに選任されました方々には、前任者同様改良区業務運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

分水区名	退任者	在任期間
美唄第2分水区	皆川和義	平成22年～平成30年 通算8年間
岩見沢第1分水区	前川隆	平成21年～平成30年 通算9年間

新分水区長

▼美唄第2分水区



山本紀幸 新区長
(美唄市進徳町3区)

▼岩見沢第1分水区



安藤俊秀 新区長
(三笠市岡山317番地の3)

▼支線組合長の異動がありましたのでお知らせ致します。今般退任されました支線組合長には、これまで改良区にお寄せいただきました数々のご厚情に対し深甚なる感謝を申し上げます。

今回新たに選任されました方々には、前任者同様改良区業務運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支線組合名	退任者	新任者
沼貝幹線第1区	三浦敏一	山本紀幸
沼貝幹線第2区	林孝友	林敏哉
沼貝幹線第3区	皆川和義	竹島正雄
沼貝幹線第4区	東孝和	市田繁樹
中小屋	中山文喜	新林岩男
2号川溜池	前川隆	野文明
栄町	斉藤宗敏	大住克行
小西自協	栗崎和幸	森田泰広
晩翠	故高橋利次	瀬川徹



▼また、永年歴任いただき退任された三浦支線組合長、皆川支線組合長、中山支線組合長、前川支線組合長、斉藤支線組合長に、その功績に対し顕彰規定により感謝状を贈呈いたしました。

栄町	2号川溜池	中 小 屋	沼 貝 幹 線 区 第 3 区	沼 貝 幹 線 区 第 1 区	支 線 合 組 合
斉藤 宗 敏	前 川 隆	中 山 文 喜	皆 川 和 義	三 浦 敏 一	退 任 者
(支) 平成13年～平成30年 通算17年3ヶ月	(支) 平成10年～平成30年 通算20年	(支) 平成20年～平成30年 通算10年	(支) 平成18年～平成30年 通算12年	(支) 平成20年～平成30年 通算10年	在 任 期 間 (分水区・支線組合)

職員人事異動

退 職

▼3月31日付（嘱託職員）

星 野 公 明（総務部 賦課調整課 調査役）

中 内 貞 夫（技術部 岩見沢事業所 調査役）

▼3月31日付（依願退職）

羽 廣 政 人（技術部 美唄事業所 技師）

▼3月31日付（臨時職員）

大 野 愛 望（技術部 南幌事業所）

四月一日付異動発令

▼総務部次長兼総務課長

洪 谷 誠（総務部 総務課長）

▼技術部次長兼工務課長

池 田 伸 二（技術部 工務課長）

▼技術部砂川事業所 副主幹

繁 泉 吉 孝（技術部 砂川事業所 主査）

▼技術部工務課 主査

跡 部 貴 史（技術部 工務課 技師）

▼いわみざわ土地改良推進事務所 主査

高 瀬 正 樹
（いわみざわ土地改良推進事務所 主事）

▼技術部管理課 主幹

白 川 和 典（技術部 岩見沢事業所 主幹）

▼技術部岩見沢事業所 副主幹

播 磨 傳
（基盤整備課 副主幹 美唄市土地改良センター 出向）

▼技術部岩見沢事業所 主査

中 谷 靖 章（技術部 工務課 主査）

▼技術部工務課 主査

佐 々 木 優 太
（いわみざわ土地改良推進事務所 主査）

▼技術部美唄事業所 主査

桐 越 秀 明
（基盤整備課 主査 奈井江町土地改良センター 出向）

▼基盤整備課 技師

奈井江町土地改良センター 出向

矢 萩 徹 世（技術部 砂川事業所 技師）

▼基盤整備課 技師

美唄市土地改良センター 出向

中 尾 友 則（技術部 岩見沢事業所 技師）

▼いわみざわ土地改良推進事務所 技師

清 水 俊 秀（技術部 南幌事業所 技師）

新規職員採用

平成30年4月1日付で新規採用となりました。

どうぞよろしくお願いいたします。



北村 凌斗

(技術部 砂川事業所 技師補)



犬飼 竣貴

(技術部 岩見沢事業所 技師補)



伊達 海斗

(技術部 岩見沢事業所 技師補)

臨時職員採用

▼技術部 南幌事業所

荒明 瑠美 (6月1日)

おくやみ

当区関係者において、左記の方々が
ご逝去されました。
ここに、生前中当区業務運営にご尽力
賜りました事に深く感謝申し上げ謹
んでご冥福をお祈り致します。



◎元 役員

大橋 勝巳氏 (砂川市)

監事 (平成9年～平成13年)
総代 (昭和62年～平成9年)
旧富平支線組合長
赤平富平連合支線組合長
(昭和62年～平成7年)
平成29年12月9日 逝去

菊岡 仁氏 (岩見沢市)

旧岩見沢土地改良区 理事
(昭和62年～平成3年)
平成29年12月10日 逝去

山田 政雄氏 (南幌町)

理事 (平成5年～平成17年)
総代 (昭和58年～平成7年)
旧第10分水区分長 (平成5年～平成13年)
晩翠支線組合長 (平成1年～平成6年)
平成30年1月19日 逝去

平政 義氏 (岩見沢市)

旧第17分水区分長 (平成15年～平成19年)
岩見沢第9支線組合長
(平成15年～平成19年)
平成30年3月9日 逝去

◎支線組合長

高橋 利次氏 (南幌町)

晩翠支線組合長 (平成21年～平成30年)
平成30年1月26日 逝去

◎組合員

板坂 孝氏 (美唄市)

美唄第1分水区分
平成30年1月9日 逝去

渡辺 信一郎氏 (岩見沢市)

岩見沢第5分水区分
平成30年2月13日 逝去

◎元 職員

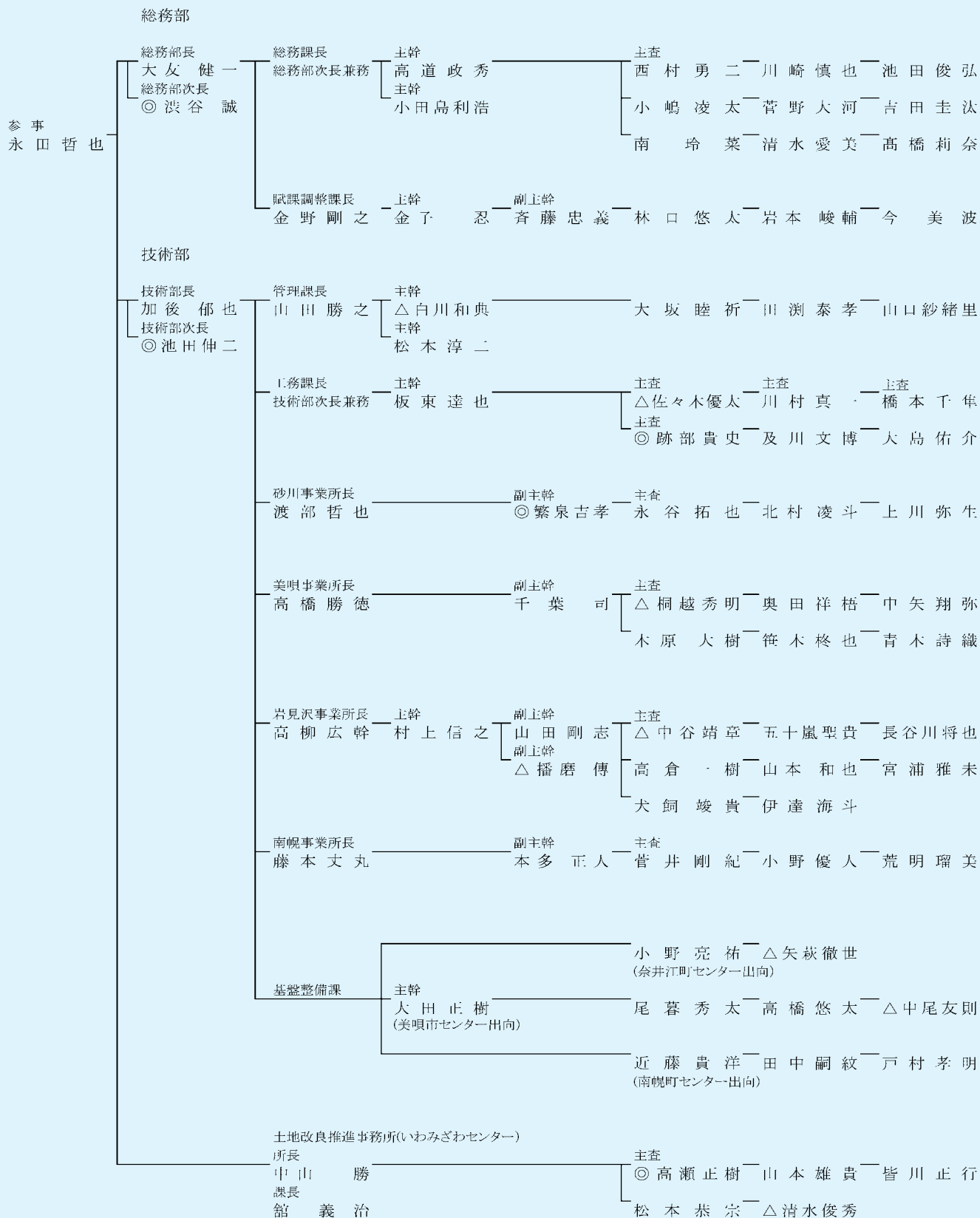
湊 弘氏 (岩見沢市)

技術部 工務課
平成30年1月23日 逝去

早川 義弘氏 (岩見沢市)

事務部長
平成30年2月3日 逝去

業務執行体制 (平成30年6月1日現在)



☆昇格・異動

◎昇格

△異動

節水と節電にご協力を!!

近年の電力料金の値上げの影響で、揚水機場を主とする当区施設の電力料及び維持管理費も増嵩しております。

本年度も皆様のご協力を頂きながら万全な体制を整え利水調整を行ってまいりますので、引き続き節水と節電にご協力お願い申し上げます。



面積が変わった場合には必ず届け出を

農地が減ったり増えたりした時や、耕作者が変わった時はすぐ土地改良区に届出(名義及び地目変更又は地区除外の手続き)をして下さい。

届出がない場合は、そのまま賦課されますので、農業委員会、農業協同組合、共済等に手続きを行った際は、**必ず土地改良区にも届出**をお願い致します。

なお、いずれも農業委員会の書面、分筆図等の書類と印鑑を持参の上、届出をして下さい。

ほ場整備事業等償還金のある土地を売買する場合、繰上償還して頂きますので、ご相談ください。

(変更の手続きは、賦課調整課・各事業所まで)

※賦課金を滞納した土地の取得にはご注意を!

滞納している土地を購入すると、取得された方がその土地の滞納金を支払うことになります。

(土地改良法 42 条: 権利義務の承認) 権利義務の承認とは、土地に有した事業に関する権利(水使用)と義務(賦課金納入)を引き継ぐことです。従って、購入する際に土地代を決める場合は事前に当改良区に滞納の有無を必ず確認して下さい。

第13回

北海幹線用水路ウォーキング



水土里の路を歩こう！新しい発見が待ってるよ
新鮮野菜等が当たる大抽選会
新鮮農産物販売もあるよ！

北海幹線用水路は約14,000ha
の田んぼに水を運んでおり、総延
長約80kmにおよぶ日本最長
の農業用用水路です。

北海幹線用水路は平成16年
10月に「北海道遺産」として認定さ
れました。また、平成18年2月には全国「疏
水百選」にも選ばれています。

ぜひこの機会に田んぼなど美しい
農村風景とともに、北海道遺産となっ
た用水路を見ながら散策してみませんか。



「北海道遺産」認定・全国「疏水百選」

第13回

北海幹線用水路ウォーキング

楽しんで大発見！
みんなで大参加してね！

参加賞や大抽選会もあるんだ！

参加者大募集!!

先着300名 ■締切り日
7月24日(火)午後5時まで
[定員になり次第締切らせて頂きます]

開催日

7月29日(日)

【朝9時受付】朝10時スタート(朝9時40分開会式)

集合場所

光珠内調整池管理棟前
美瑛市光珠内町(JR峰延駅より北東へ約1.5km)臨時駐車場あり

コース

3コース
10km・7km・3km
(ただし、事情によりコースを変更する場合があります)

参加費

200円
(保険料、参加費含む)

申し込み方法

参加希望者は氏名「フリガナ」・住所・年齢・電話番号及び希望コースを下記までお申し込み下さい。

北海道土地改良区 総務部総務課「ウォーキング事務局」

TEL(0126)22-2400・FAX(0126)22-8012

受付時間:TELは土日祝日を除く午前9時から午後5時30分まで、FAXは1日24時間受付しています。

メールアドレス(1日24時間受付)

h30.walking@midorinet-hokkai.jp

◎主催:北海道土地改良区 ◎共催:岩見沢農業事務所、空知総合振興局
◎後援:美瑛市、JAみねのふ、渡水はっかい愛護連絡協議会

今年も楽しい企画が
盛りだくさん!

- ◎新鮮農産物販売
- ◎大抽選会
- ◎農業農村事業パネル展など
楽しさ盛り沢山で待ってます

◎共催

北海道150年事業

未来へつなぐ、みんなでつなぐ、2018年 北海道命名150年
(空知農業・北海幹線用水路の歴史パネル展)



同時開催

- 新鮮農産物販売
- 大抽選会
- 農業農村事業パネル展



集合場所(受付)案内図・コース図

当日車でお越しの際は、国道12号線に案内看板を設置
しておりますので、案内看板の通りお越しください。

案内看板 ●●● 参加者車経路 ●●● 参加者徒歩経路

コース経路
→ 10kmコース → 7kmコース
→ 3kmコース

※コース変更のお知らせ
防風保安林内の森林整備に伴い、今大会より一部コースが
変更となります。
(防風保安林は利用しません)



【申し込み事項】

- 参加費/200円(保険料、参加費含む)
- 持ち物/雨具、タオル、着替え、ゴミ袋、飲み物、敷物等各自持参
- 雨天時/雨天決行。ただし、荒天等やむを得ない事情により中止することがあります。
(当日問い合わせ090-1525-6498)
- 参加資格/参加コースを完歩することの出来る体力をおもちの方。ただし、小学生以下は引率責任者の同伴が必要。
- その他/駐車場における紛失・事故等に際し一切の責任は負いません。

【誓約事項】

大会申し込みの際に参加者は次の誓約事項に承諾の上、お申し込み下さい。

- ①主催者は傷病や紛失、その他の事故に際し一切の責任を負いません。
- ②大会スタート後の荒天等やむを得ず中止になった場合には参加費の返金はいたしません。
- ③大会参加中の映像・写真・記事・記録など新聞インターネット等登載権は主催者に属します。

【注意事項】

- 暑さ・熱射対策として水分・塩分補給と白っぽい衣服や帽子の着用をお勧めします。
- ハチに襲われないためには
 - ①ハチは濃い色を攻撃する性質があるので、白っぽい服装にしましょう。
 - ②長そで、長ズボン、手袋、帽子などを着用し、肌の露出を避けた服装にしましょう。
 - ③ヘアスプレー、ヘアトニック、香水等の化粧品、飲食用の甘い匂いにハチは寄ってきます。
- 最終ゴール到着は午後1時を予定していますが、大会役員が完歩できないと判断した場合は途中で役員の車に乗りして頂きます。

用水路への

転落事故防止について

今年も4月下旬から8月下旬まで当区の用水路には、たくさんの方が流れ、幼児・児童にとつては大変危険な時期となります。

昨年は、皆様のご協力により事故はありませんでしたが、今年も空知総合振興局と連携をとりながらの広報車による啓発、ポスターの掲示、風船、パンフレットの配布、防護柵、看板等の

整備、設置を行い転落事故を未然に防ぐべく活動を行って参りますので、組合員の皆様におかれましても幼児・児童が用水路の付近で遊んでいるところを見かけましたら一言「あぶないよ」と声をかけていただきますよう協力願います。

★今年の主な活動

ポスター	一七二枚	掲示
風船	六〇〇〇個	配布
パンフレット	五五〇〇枚	配布
救難用ロープ	一八八ヶ所	設置



事故防止啓発ポスター

(幼稚園、小学校、他公共施設等に掲示)

☆用水路、排水路及び用地内に

ゴミ等をすてないで!

五月の通水開始にあたり、用水路の整備点検を毎年行っておりますが、用水路の中は例年のごとく家庭用のゴミ、稲株、空き缶等や大型ゴミが投棄されている状況にあります。尚、揚水機場・各取水施設等も同様です。

これが原因で通水に支障をきたすばかりでなく小さなお子さんには遊び場所にもなり大変危険ですので、ゴミ、稲株等は所定の場所にお願ひ致します。

☆灯油等の油脂類の

漏油にご注意ください!

近年、融雪時期及びびかんが期間中の用水路への漏油流入事故が相次いでいます。原因箇所の特定、処理に長い時間を要し消防・行政・改良区が苦慮している状況です。原因者が特定された場合には高額な処理費用が発生します。

組合員の皆様におかれましては、ご自宅周辺に設置されている灯油タンク、農機具用の燃料タンク等の配管の点検、及び廃油等の処理には十分にご注意ください。